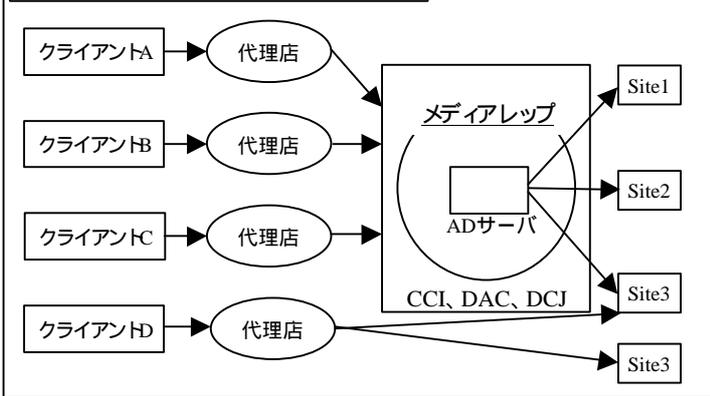
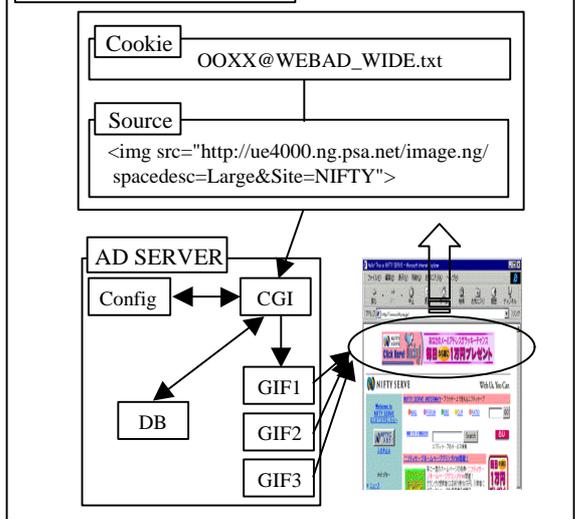


インターネット上の広告の流れ (現状)



How AD Server Works



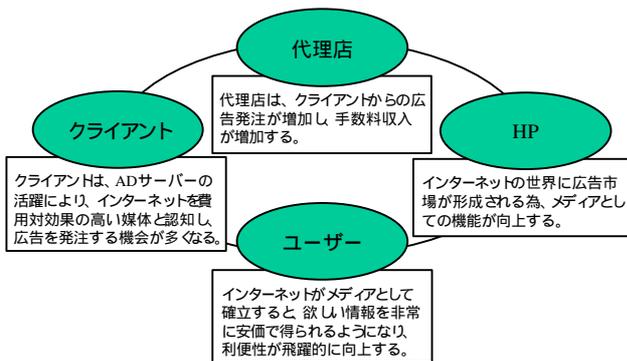
ADサーバーってなに？

ひとことで言うと、インターネット上の広告(バナー等)のナビゲーターです。最近では、インターネットが一般的なメディアとして認知され、ホームページ上などで広告を目にする機会も多いと思います。広告を掲載しようとする企業等も増加し、インターネット上の広告を中心に取り扱う代理店も設立されはじまりました。インターネット上の広告は既存の広告媒体と比べると比較的安く利用出来ます。しかし、テレビや雑誌等に比べると広告媒体としてはまだまだ不安定な部分が多くあります。ADサーバーでは、インターネット上に展開される広告を露出効果のある媒体に導き、その結果、インターネットを広告媒体として確立したものに導く役目を持っています。ADサーバーを使った新しい仕組みとしては以下のものがあります。

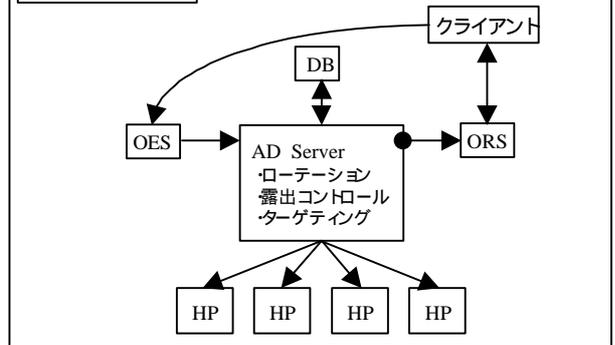
- ネットワークAD会社 -
- ・(株)サイバーコミュニケーションズ (CCI)
- デジタルアドバタイジングコンソーシアム (株) (DAC)
- ダブルクリック (株) (DCI)
- ADサーバーを提供する会社 (ライセンス) -
- ・Netgravity、Adsmart、Adknowledge、Microsoft

ADサーバーでこんな事が...

ADサーバーは、広告を発注するクライアントとそれを扱う代理店だけに関係のあるものではなく、インターネットを利用するユーザー側にも様々なメリットがあります。



ネットワークAD



ADサーバーの見方と将来の可能性

ADサーバーにも大きなデメリットがあります。
 ・ユーザーが見たくない情報を見なければならぬ。
 情報が偏りがちである

現時点での課題や議論点

- ネットワークADにおけるクッキーの利用に関して
 ・個人情報の管理、所有権の考え方。～現状では無法地帯～
 ・中立の非営利団体の必要性
 ・IAB Japan設立準備中 (電通中心?)
 ・クッキーの利用法、掲載基準等、提言できることはないか?
 ・公共サービス告知のためのツールとしての展開の可能性

これらの事をWIDEで検証し、更に便利な方向性を追求していく

WIDEプロジェクトワーキンググループ 『Web Ad』

- グループ目標： WIDE内で利用可能なADサーバーを立上げ、WebADに関する研究を行い、その評価をする。
- グループ代表者： 小宮 正克 (komiya@ai3.net)
- 代表者所属： ニフティ株式会社
- 担当ボードメンバー： 吉村 伸
- MLアドレス： webad@wide.ad.jp
- 加入/脱退 email： webad-request@wide.ad.jp

研究の概要： 広告ビジネスのマーケットが急速に拡大しており、98年には80億円市場に成長すると予想されている。現在、ADサーバーに関して多くの技術開発が行われており、WIDE内でそれを活用する事により技術評価、ノウハウ蓄積をすると共に、新技術の設計導入が期待出来る。WIDE内で利用可能なADサーバーを立上げ、まず、WIDEのホームページ上でのバナー広告を展開する事によって、グループ内におけるターゲティングの広報機能の実用性を検証し、WIDE活動へ貢献しつつ、有効な応用開拓をする事を研究目的とする。